

どだい 土台

家を建てる時には、土台が必要です。土台にはどんなものが使われているか考えて、思いついたことを、つぎの空白に書いてください。

イエスさまが「岩の上に自分の家を建てた」という

表現に使われたのは、当時の家屋の建てかたに関係しています。キリスト新聞社発行の新聖書大辞典では、「パレスチナにおける古代の家屋は概して日乾れんがを用いて建てたもので、その基礎になる部分は大きな石を並べて土台とした。ヘレニズム時代になると、家屋の沈下を防止するために土を岩盤まで掘り下げ、基礎を置くようになった。」と説明されています。

「み言葉を聞いて行う者」とは、み言葉を聞くことにより自分の生活を振り返り、改めるべきことがあれば、改めようとする人のことです。

教会の土台

教会の土台は、キリスト、あるいは使徒や預言者と
言われています。

聖書では、「イエス・キリストというすでにすえら
れている土台を無視して、だれもほかの土台をすえる
ことはできません」と表現され、私たちは「神の
神殿」であると説明されています。私たちの土台は
イエス・キリストであり、力を合わせて神さまのた
めに働くことが必要なのです。

さらに、「あなたがたは聖なる民に属する者、神の



家族であり、使徒や預言者という土台の上に建てられ
ています。そのかなめ石はキリスト・イエス御自身で
す。」と説明されています。私たちはキリスト・イエ
スにおいて一つにまとめられています。